

大連の概況と投資環境

平成27年12月

山口銀行 国際部

目 次

1. 大連市の概況	
(1) 地理的位置	1
(2) 行政区と人口	1
(3) 気候	1
(4) 友好都市	1
(5) 主要産業	1
(6) 国際展示会・見本市(2014年)	1
2. 主要経済指標	2
3. インフラ環境	
(1) 交通	2
(2) エネルギー	3
(3) 通信	3
(4) 生活環境	4
4. 経済特区(開発区)等	
(1) 大連金普新区	5
(2) ハイテク産業区	6
(3) その他の重点発展地域	6
5. 投資関連コスト	
(1) インフラコスト	7
(2) 社会保障費用	7
6. 大連の強みと弱み	
(1) ストロング・ポイント	7
(2) ウィーク・ポイント	8
(3) 進出日系企業の悩み	8
7. 大連の将来(遼寧沿海経済帯発展計画)	9
山口銀行大連支店業務取扱内容	12
付録 大連市行政区域ならびに重点発展地域	13
山口銀行大連支店連絡先	14

1. 大連市の概況

(1) 地理的位置

大連市は、中国東北部遼東半島の南端にあり、北緯38度、東経121度に位置している。緯度的には仙台市とほぼ同じであり、日本との時差は-1時間である。後背地には東北三省（遼寧省、吉林省、黒龍江省）と内モンゴル東部を抱え、東北地区最大の港湾都市として発展している。下関市からの直線距離は約1,000kmと、下関～東京間とほぼ同じ距離である。

(2) 行政区と人口

大連市は、6管轄行政区（中山区、西崗区、沙河口区、甘井子区、旅順口区、金州区）、3市（普蘭店市、瓦房店市、庄河市）、1県（長海県）で構成されている。また大連市には7国家級開発区（高新技术産業開発区、経済技術開発区、長興島経済技術開発区、輸出加工区、保税區、金石灘国家旅遊度假区、旅順経済技術開発区）がある。2010年より金州区全管轄地区と普蘭店市の一部地区で金普新区とし、計画建設していたが、中国国務院は2014年6月に大連金普新区設立を許可し、10番目の国家級新区に格上げされた。

全市の面積は12,574km²と北九州市の約26倍、中心部（6区合計）の面積は2,415km²と北九州市の約5倍となっている。全市の人口（戸籍ベース）は594.3万人となっている。

(3) 気 候

海洋性気候の特徴を持つ大陸性モンスーン性気候で、四季がはっきりしており、冬もそれほど寒くなく夏は涼しい。年間平均気温は11.5℃で、8月が最も暑く（最高気温33.5℃）、1月が最も寒い（最低気温-15.0℃）。年間降水量は550～950mmで近年では夏場に雨が多い。

(4) 友好都市

大連市は、北九州市との間で1979年5月に初めて友好協定を締結し、以降1982年に舞鶴市（京都府）、1985年にブレーメン市（ドイツ）など現在までに世界中の9都市と友好関係にある。

また、大連港と横浜港、中山区と荒川区（東京都）、金州区と七尾市（石川県）並びに尾鷲市（三重県）、西崗区と花巻市（岩手県）、瓦房店市と玉名市（熊本県）並びに天童市（山形県）が友好都市関係にあり、愛媛県、青森県と友好経済協力協定を諏訪市（長野県）と観光協定を締結している。

(5) 主要産業

主要産業は、機械、造船、石油化学、ソフトウェア・情報サービス、物流であるが、電子、IC、軽工業、建材、食品、医薬等も備えた総合工業都市である。また、金融・商業・観光・展示コンベンションも盛んであるほか、海産物、果物の主要な産地でもある。

(6) 国際展示会・見本市(2015年)

- 5月 大連輸出入商品交易会兼大連国際工業博覧会
- 6月 中国国際家具・木工機械・家具材料（大連）展覧会
- 6月 中国国際ソフトウェア・インフォメーションサービスフェア
- 7月 中国（大連）国際食品・酒類交易会&Eコマースサミット
- 9月 大連国際高齢産業博覧会
- 9月 中国（大連）国際ファッション祭り・中国国際アパレル繊維製品博覧会
- 9月 大連日本商品展覧会

【データ出所：大連市ホームページ、（ジェトロ）大連市概況】

2. 主要経済指標

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
名目GDP(億元)	4,418	5,158	6,150	7,003	7,651	7,656
実質成長率(%)	15.0	15.2	13.5	10.3	9.0	5.8
輸出高(億米ドル)	208	274	312	347	374	356
輸入高(億米ドル)	195	247	288	294	314	302
総人口(万人)	585	586	588	590	591	594
都市住民平均収入(元)	19,014	21,293	24,276	27,539	30,238	33,591
消費者物価上昇率%	0.2	2.7	5.4	3.4	2.5	2.0
対内直接投資(件数)	473	472	365	283	240	223
同契約金額(億米ドル)	65.8	81.0	52.8	91.6	111.4	102.7
[ご参考]中国全国の 実質成長率(%)	9.1	10.4	9.3	7.7	7.7	7.4

【データ出所：各年度の大連市および全国国民経済および社会発展統計公報】

3. インフラ環境

(1) 交通

◆ 港湾

大連港、大窯湾港、鮎魚湾石油港、大連湾漁港、和尚島石炭港、北良食糧港。

- ・世界の約160の国と地域の300港あまりと航路を結ぶ貿易港で、中国東北地区における70%以上の海運貨物および90%以上の国際貿易によるコンテナ輸送を担っている。
- ・2013年の貨物取扱量は4.1億トン(前年比+8.9%)、コンテナ取扱量は1,013.2万TEU(前年比+1.2%)であった。

【大連から日本の各港への所要日数】

東京(4日)、横浜(5日)、大阪(2日)、名古屋(3日)、神戸(3日)、門司(3日)

◆ 空港

大連周水子国際空港は、市中心部から約10km、開発区から約20kmの所にあり、国際線36および国内線118の定期航路をもち、国内外の90都市と結ばれている。

2013年の空港利用旅客数は1,355.1万人(前年比:-3.8%)であった。日本との定期航路は6都市、週58便(成田22便、関西18便、福岡7便、広島5便、名古屋4便、富山2便、札幌・仙台・岡山は運休中)が就航している。また現在金州湾で新空港の建設計画が進行中。

◆ 鉄道

2012年12月1日ハルビン～大連間高速旅客鉄道が、複線の旅客運送専用路線として開通。全長921km(全23駅)。設計速度は350km/hであるが、冬季(12月～3月)は200km/h、夏季

は300km/hで運行。一般路線は大連－長春線を幹線として、東北、華南鉄道網に繋がっており、貨物専用となった。

◆ 道 路

高速道路は幹線となる瀋大高速（瀋陽～大連間：375 k m）、丹大高速（丹東～大連間：253 k m）が整備されており、2008年8月には、旅順新港を結ぶ大連土羊高速が完成し、長興島と瀋陽～大連高速を結ぶ長興島疎港高速は2010年10月に開通し、長興島から大連市内への所要時間は20～30分短縮された。2011年10月皮砲高速（普蘭店市～瓦房店市）、2012年9月に庄蓋高速（庄河市～蓋州市）が開通した。

また、市内中心部東端の東港地区から大連湾を越えて経済開発区に至る大連湾縦断道路も着工しており、完成すれば市内から開発区まで15分程度（80km/h）で結ばれる。

◆ 地 下 鉄

地下鉄1、2号線で計34駅を設置、地下鉄2号線は2015年5月22日開通。地下鉄1号線は2015年中に試運行開始予定。

(2) エネルギー

◆ 電 力

2013年の大連市電力需要量は302億kwh、うち2013年に営業運転を開始した紅沿河原子力発電所が58億5,700万kwhを占めた。クリーンエネルギーの発展にも力を入れている。

◆ 水資源

黄海流域と渤海流域の2つの大水系を有し、黄海流域に属する碧流河および英那河では投資総額50億元強をかけて引水工事を行った結果、1日あたり110万トンの給水が確保されるようになった。

また、市内には12カ所の浄水場があり、水は安定的に供給されている。

(3) 通 信

◆ 国際電話・インターネット

国際電話は国内外に直接ダイヤルが可能であり、インターネットについてもADSLが普及しているものの、光通信は通信費用が高いためADSLほどの利用はない。

2014年末移動電話使用台数--- 848.6万台（前年比-6.6%）

2014年末固定電話使用台数--- 239.9万台（前年比-5.1%）

2014年末国際インターネット使用台数--- 132.2万台（前年比+2.1%）

◆ 国際郵便（EMS）

国際郵便（EMS）を利用して大連～下関間は3～4日で到着する。インターネットまたは電話で配達状況をトレースすることもできる。

(4) 生活環境

◆ ショッピングセンター

スーパー： カルフール（仏）、ウォルマート（米）、メトロ（独）など

デパート： 大連商場、マイカル、ニューマート、百盛、勝利百貨店など

大連市一番の繁華街は、勝利広場の南の青泥(クニ)商業区であり、大連商場、マイカル、ニューマート、百年城などが集中しており、地下にも大規模な商店街がある。近隣の市内中心部には2015年4月にマレーシア系ショッピングモール1号店である柏威年(パビリオン)が開業。郊外型では2013年5月大連市内最大の大型ショッピングモール「大連高新万達広場」が、開発区に2015年8月に「大連開発区万達広場」が開業。

◆ ホテル

市内には5つ星クラス（フラマ、シャングリラ、スイス、日航、新世界、海景、ケンピンスキー、インターコンチネンタル、コンラッド、ヒルトン、銀帆等）および4つ星クラスのホテルが多数ある。

◆ 外国人向け住宅

アカシア別荘（開発区内）、付家庄国際村等日系住宅会社開発の物件をはじめとしてアパート・マンション等の物件は多い。また、スイス、日航、シャングリラなど長期滞在者用設備の完備したホテル（公寓）もある。

日系住宅会社開発物件やホテル系のマンション（公寓）の賃料は広さにもよるが、月間1万円～2万円、一般の賃貸マンション等は広さや契約形態にもよるが、3千元から1万円程度で物件も多い。

◆ オフィスビル

日系企業の入居の多いオフィスビルとしては森茂大厦（森ビル）が代表格、他に、宏誉大厦、世界貿易中心、虹源大厦など多数あり現状需給のタイト感はない。管理のしっかりしている森ビルの賃料が群を抜いているが、他のオフィスビルについては立地場所・築年数にもよるが大差はない。

◆ 在中公館

在瀋陽日本国総領事館在大連出張駐在官事務所（1993年6月開設）

住所 大連市西崗区中山路147号 森茂大厦3階

TEL. 86-411-8370-4077、FAX 86-411-8370-4066

長期滞在邦人数 5,872人（2014年10月 届出ベース）

◆ 日本人学校

大連日本人学校（1994年4月開校）付属幼稚園も併設

住所 大連市経済技術開発区湾里南92号

TEL. 86-411-88174901(日本語) FAX. 86-411-88174984

生徒数 174名（小学部116名、中学部20名、幼稚園38名、2015年9月28日現在）

◆ 病 院

大連市中心医院、大連医科大学付属第一・第二病院および大連市児童病院を始めとして、日本語が通じる病院も多い。

また、ウェルビー、さくらクリニック等の日系の医療サポート企業もあり、病院等の手配も日本語で可能である。

◆ ジェトロ

日本貿易振興機構（ジェトロ）大連事務所（1993年春開設）

住所 大連市西崗区中山路147号 森茂大厦19階

TEL. 86-411-8360-9418、FAX 86-411-8360-9498

◆ 大連日本商工会

会員数 766（市内分会394、開発区分会369、特別会員3 2015年8月31日現在）

◆ ゴルフ場

金石ゴルフクラブ、大連カントリークラブ、長興島ゴルフクラブ、
湾山ゴルフクラブ、西郊ゴルフクラブ

【データ出所：大連市投資指南、大連市全国国民経済および社会発展統計公報】

4. 経済特区（開発区）等

(1) 大連金普新区

2014年6月国务院の批准を受け、中国10番目の国家級新区として承認され、2015年3月大連金普新区管理委員会が設置された。大連市金州区の全ての行政区域と普蘭店市の一部地域を含み、金州新区(金州区と経済技術開発区)、保税区、普湾新区から構成され、輸出加工区や観光リゾート区も含まれ、総面積は2,299km²(大連市の18%)、総人口158万人(大連市の22.8%)でGDPでは大連市全体の37.5%を占めます。

①大連経済技術開発区

1984年10月に国务院の批准を得て、中国で最も早く設立された14の国家レベルの経済技術開発区のひとつであり、大連最大の製造業基地となっている。市中心部より北東に約27km、車で約40～50分の距離にある。2011年4月に金州区と統合し大連金州新区（総面積：1,039.8 km²）設立され、現在は国家級開発区として金州新区の中に併存する形態となっている。

特色としては、開発区内に、マンション、高級ホテル、デパート、ショッピングセンター、病院、金融機関、レジャー施設などひと通りの施設が揃っており、開発区全体がひとつの都市を形成している。

進出日系企業：東芝、キヤノン、日本電産、オムロン、トステム、マブチモーター、TOTO、リョービ、ヤマザキマザックなど

②大連保税区

1992年5月に国务院の批准を得て設立された自由貿易区であり、「中国国内にありながら、関税制度上は国外である」という特徴をもち、税関の監督、管理の下に置かれている。

国内外の企業は保税区内で独資または合弁企業を設立することができ、業種としては貿易、加工、倉庫、物流、サービスおよび金融機関等の設立が可能である。

進出日系企業：東芝、日本通運、山九、東洋物産、アイリスオーヤマなど

なお東風汽車有限公司（日産自動車株と東風汽車集団股份有限公司の合弁企業）大連工場は2014年10月生産開始予定。

③大連輸出加工区

大連保税区内にあり、2000年4月に国务院の批准を得て設立された全国で最初の輸出加工区のひとつであり、税関の監督・管理の下に置かれている。輸出加工型企業に適した優遇政策を実施している。区内に設立できる企業は、輸出加工を主とする生産型企業およびその企業に対してサービスを提供する物流企業または倉庫企業である。

進出日系企業：千代田空調機器、根本特殊化学、ジェイテクトなど

④大窯湾保税港区

2006年10月中国で3番目の保税港区として国务院から批准された。区域では、貿易、倉庫、簡単な加工などの業務が営める。

⑤大連普湾新区（先進装置産業）

(2) ハイテク産業区

ソフトウェアと情報サービス産業、マルチメディアとデジタルエンターテインメント産業、バイオと製薬産業、ICと半導体産業、先進装備製造産業の集積を目的として1991年に国家の批准を得て建設された産業区である（計画総面積：約36km²）。

七賢嶺産業化基地（旅順南路七賢嶺海浜）、由家村産業基地（沙河口区高科技園区、通称「ソフトウェアパーク」）、双D港（開発区と金石灘の間、双DとはDIGITALとDNAの意）から構成され、進出企業総数は約2,700社、うち外資系企業は800社に達している。

進出日系企業：アルパイン、アルプス電気、コクヨ、ジャストシステムなど

(3) その他の主な重点発展地域（13頁の地図参照）

①長興島経済技術開発区（船舶、重設備）…李克強総理が遼寧省党委書記時代に注目され、2010年4月に国家級経済技術開発区、同年5月に遼寧省総合改革試験区となり、開発が進められている。

②花園口経済区（新材料）

③旅順緑色経済区（ハイテク、物流）

④瓦房店沿海経済区（設備製造、紡績）

⑤庄河臨港経済区（設備製造、家具、エネルギー）

⑥旅順南路軟件産業帯（アウトソーシング、IT）

⑦生態科技創新城（最先端技術開発）

⑧大連湾臨海装備製造業聚集区及配套園区（海洋、原子力）

⑨登沙河新区（高品質鋼材、特殊鋼材）

⑩皮楊中心産業区（服飾、食品加工）

⑪庄河循環区経済区（環境・リサイクル）

【データ出所：大連市投資指南】

5. 投資関連コスト

(1) インフラコスト

項目	内容	料金
土地使用権 期間：50年 (最低地価)	市内4区	480元/m ²
	経済技術開発区(標準地価)	360元～560元/m ²
	大連保稅区	800元/m ²
	金州区・旅順区	336元/m ²
	瓦房店市	204元/m ²
	普蘭店市・庄河市	168元/m ²
	長興島開發区	220元/m ²
貸工場賃料	標準タイプ	0.4元～0.9元/m ² /日
電 気 (大工業用)	1KV-10KV	0.501元/KWH
	35 - 110KV	0.488元/KWH
水 道	工業用	3.2元/m ³
ガ ス	工業用	2.4元/m ³

【データ出所：大連市投資指南】

(2) 社会保障費用

項目	企業負担分	個人負担分
養老保険	19.0%	8.0%
医療保険	8.0%	2.0%
失業保険	2.0%	1.0%
労災保険	0.2～2.0%	—%
生育保険	0.5%	—%
住宅積立金	10.0～25.0%	10.0%
合 計	39.7～56.5%	21.0%

【データ出所：大連市投資指南】

6. 大連の強みと弱み

(1) ストロング・ポイント

- ・日本・韓国に近い

大連市の強みは何と言っても大規模な港湾施設を有し、日本、韓国に近いという点にある。そのため、輸出拠点ならびに加工基地として適している。

- ・東北部の玄関口として今後更なる発展が見込める

後背地には東北三省（遼寧省、吉林省、黒龍江省）と内モンゴル東部を抱え、東北地区振興という国策の下でその重要性が更に高まる。

- ・大連市にとって日系企業が第一のお客様である

大連市に対して対内直接投資が一番大きいのは日系企業であり、日本人ならびに日系企業に対する反日感情は少ない。大連日本商工会は大連市政府と定期的に対話を行っている。

- ・日本語人材が豊富で水準が高い

日系企業が多いことから日本語を学習する生徒が多い。松下、アルパイン、オムロンなどはR&Dセンターを設置、GE、デルなどの外資系企業も大連に日本語コールセンターを設置して、日本向けアウトソーシングの拠点として位置づけている。

(2) ウィーク・ポイント

- ・陸上輸送には不便

大連市は海上輸送に利便性がある反面、陸上輸送面では遼東半島の南端に位置することから、道路距離では北京まで932 km、上海まで2,229 kmとかなり遠い。

中国全土への販売を目的に進出しようとする企業にとっては、不利である。

- ・日本語のできるIT人材の需給逼迫と給料の高騰

IT企業の急増により日本語のできるIT人材は極端に不足しており、給料が高騰している。一方、日本語人材の供給に比し、日系企業の人材採用が低調で、日本語人材が過剰気味になっている。

- ・円安の進行と人件費の急騰

大連が得意とする輸出加工型産業には大きな打撃、さらに日本向けが売上のほとんどを占めるIT・BPO産業は競争力を失いつつあり、さらに大きな打撃となっている。

(3) 進出日系企業の悩み

① 優遇政策の見直し

- ・2007年より外資企業に対しても、土地使用税が課税

(例) 開発区、保税区 1㎡あたり年間6元

- ・2008年より企業所得税が原則として25%に引上げられた(中国全土)

- ・2008年より2免3減などの優遇政策が原則として廃止(中国全土)

- ・輸出奨励策(増値税の還付など)の見直し(中国全土)

② 人件費、物件費の上昇

- ・2013年8月より、最低賃金が引上げられ、市内中心で1,300元/月、瓦房店市、普蘭店市、庄河市で1,200元/月に改定された。

- ・2008年7月より、あらゆる企業、事務所に身障者就業保障金ならびに工会(労働組合)経費(工会準備金)の納付が義務付けられた。

- ・2011年6月頃より水務局より外資系企業に適用除外であった河道管理費(売上高の0.1%)を納付するように通知あり(ただ2014年2月より1年間徴収猶予)。

- ・2011年7月より社会保険法が改正され日本人にも納付義務発生(中国全土)。

ただし2014年9月現在上海や大連では適用されていない。

7. 大連の将来（遼寧沿海経済帯発展計画）

遼寧沿海経済帯とは、遼寧省の沿海6都市（大連、丹東、錦州、営口、盤錦、葫蘆島）にある経済開発区、工業区などからなる経済ベルトを指す。2009年国务院より批准された「遼寧沿海経済エリア発展計画（五点一線計画）」によると、大連は長興島、営口、錦州湾、丹東、花園口を結ぶ濱海道路の「五点一線」の中心都市として、臨港産業（造船・物流等）、ハイテク産業、現代サービス業（知識集約型サービス業）が一体となった産業クラスターを目指すこととしており、具体的には6つの柱産業を中心に育成を強化する。

また核となる大連市の発展計画には、北東アジア国際航運センター、北東アジア国際物流センター、地域金融センターの建設が含まれる。

【6つの柱産業】

柱産業1：ソフトウェア・情報サービス

2009年の大連市におけるソフトウェア・情報サービス産業の売上高は400億元にのぼり、関連従業員数は9万人に達している。200社あまりの企業が日本、韓国、シンガポールや欧米からのアウトソーシングを請け負っている。世界のIT企業のトップ500社のうち33社が大連に進出しており、アウトソーシングセンターおよび開発センターを設立している。

柱産業2：石油化学

石油精製と石油化学工業は、大連市の基幹産業に位置づけられる。産業基盤は磐石で、多岐にわたる。大連市に建設中の製油所の精製能力は3,000万トンに達する。

柱産業3：造船業

大連では、超大型タンカーやコンテナ船、オイルリグ、化学専用船など、ハイエンド製品に重点を置いている。渤海海岸線では、造船所の集積が進められており、船舶用ディーゼルエンジンやクランクシャフトなどの関連部品産業の発展を推進することで中国最大造船拠点とする計画である。

柱産業4：重設備製造業

大連の重設備製造業は100年以上の歴史をもち、重設備製造企業は1,662社、そのうち生産高が10億元を超える企業が27社ある。既に完成した工業園の中から一部の臨海臨港エリアを厳選し、国際的な重設備製造業の進出の受け皿として、合計11カ所、総面積100km²の工業区を設けている。

柱産業5：物流（東北アジアの国際運輸センター）

大連では、海上輸送、航空輸送、鉄道、道路およびパイプラインの5大輸送

方式が完備され、総合型の臨海集散システムが確立している。

2004年に東北アジアにおける重要な国際運輸センターを目指す目標を打ち出したが、その拠り所は、大連が国際海上輸送のハブ港であることや、総合力の高い港湾都市であること、また、国際貿易や物流、金融、情報などの各種産業の移転が行われていることであり、更なる港湾機能や臨海産業の基盤強化を図り、最終的に大連を東北アジアの国際運輸に強い影響力を持つハブ港として位置づけることを目標としている。

2007年6月には、中国で対外開放が最も進んだ経済特区の一つである大連保税港区が運用開始となり、各種優遇措置が受けられるほか、様々な機能が整備されている。現在保税港区を中核に後背地の保税物流拠点と内陸港（貨物集配拠点）を結ぶ東北保税物流ネットワークを構築しており、その範囲を拡大することで中国東北地区経済を牽引する計画である。

柱産業6：電子情報製品製造業

現在、電子基礎部品やデジタルAV製品、モバイル通信ターミナル製品の製造も盛んであるが、インテルの半導体チップ・プロジェクトの立ち上げと、国際半導体製造装置材料協会（SEMI）による半導体設備材料関連の150のプロジェクト進出が2年以内に予定されており、これに伴い、90ナノメートル・プロセス技術のICシリコン半導体チップおよび半導体関連設備、ハイエンド材料等の新たな産業が加わる予定である。

また、大連市は全域都市化を推進、「四大ブロック」の空間配置を確立し、2020年までに都市農村機能、産業、施設、社会、公共サービスを一体化した新しい構造形成を図ることとしている。

【四大ブロック】の概要

主要市街区ブロック

- ① 中山区、西崗区、沙河口区、甘井子区
金融センター、物流センター、ベストシティ、国際商务区、知識経済集積区として住みやすい市街区を建設する。
- ② 旅順港区
船舶物流、観光、科学技術研究開発、教育文化を中心に発展させる。
- ③ 高新園区
旅順南路ソフトウェア産業帯建設を推進する。

新しい市街区ブロック（金州新区、普湾新区、保税区）

船舶物流、教育文化、情報サービス、観光などの現代サービス業および先進的な装備製造、新エネルギー装備、海洋プロジェクト、新世代情報技術など新興産業を育成する。

金州新区は、新しい市街区の経済センターとして、製造業集積地を、保税区は自動車産業の集積地を建設する。

渤海区域ブロック（瓦房店、長興島）

瓦房店は装備製造、ファイン・ケミカル、臨港物流、エコ・ツアーとグリーンエネルギー産業の育成を図る。

長興島臨港工業区は装備製造、船舶製造と付属品、石油化学工業、逸品鋼材、バイオ製薬と現代物流業を発展させる。

黄海区域ブロック…庄河、花園口、長海

庄河市は先進装備製造、家庭製品製造、農業副産物加工、新エネルギー、石油化学工業、静脈産業と観光業の育成を図る。

花園口経済区は、新材料、バイオ製薬、新エネルギー、省エネルギー環境保護産業の育成を図る。

長海はレジャー観光産業と海洋経済の育成を図る。

【データ出所：大連市投資指南】

山口銀行大連支店 業務取扱内容

取 扱 業 務

1. 取扱通貨
人民元、米ドル、日本円
2. 融資、保証業務
 - (1) 短期、中長期融資
 - (2) 各種保証業務（支払保証、入札保証、契約履行保証等）
3. 預金業務
普通預金、定期預金
4. 送金業務
 - (1) 仕向送金（電信送金）
 - (2) 被仕向送金
5. 輸出業務
 - (1) 信用状通知
 - (2) 輸出手形の買取、取立
6. 輸入業務
 - (1) 信用状の開設
 - (2) 輸入手形決済
7. 工場設立や現地法人運営に関する各種アドバイザリー業務

付録 大連市行政区域ならびに重点発展地域

- ① 大連普湾新区
- ② 長興島経済技術開発区
- ③ 花園口経済区
- ④ 旅順綠色経済区
- ⑤ 瓦房店沿海経済区
- ⑥ 庄河臨港経済区
- ⑦ 旅順南路軟件産業帯
- ⑧ 生態科技創新城
- ⑨ 大連湾臨海裝備製造業聚集区及配套園区
- ⑩ 登沙河新区
- ⑪ 皮楊中心産業区
- ⑫ 庄河循環区経済区



【データ出所：大連市投資指南】

山口銀行大連支店連絡先

所在地 : 中華人民共和国遼寧省大連市西崗区中山路147号 森茂大厦14F
郵便番号 : 116011
電 話 : 86-411-8370-5288
F a x : 86-411-8370-5290
E-mail : yama283@ymbkd1.cn

本件に関する問合せ

山口銀行 国際部 国際営業推進グループ
アジア貿易投資相談所
所在地 : 山口県下関市竹崎町4丁目2番36号
郵便番号 : 750-8603
電 話 : 083-223-1494
F a x : 083-232-6312
<http://www.yamaguchibank.co.jp>

本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、その正確性ならびに完全性を保証するものではありません。あくまでも情報の提供を目的とするものであり、何らの投資、勧誘を行うものではありません。参考としてご利用いただき、経営上の決定はお客様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。内容について（株）山口銀行は一切責任を負いません。